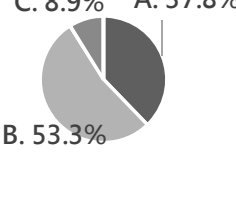
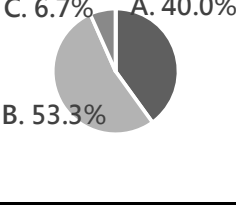
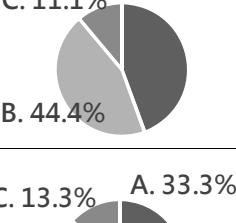
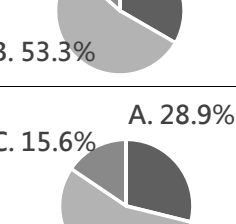
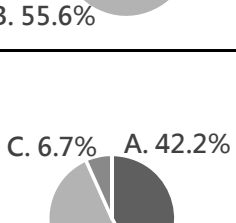
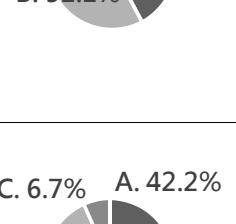
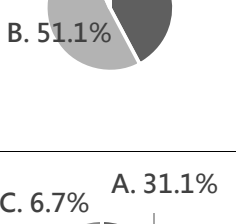
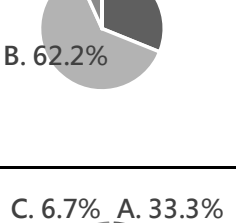
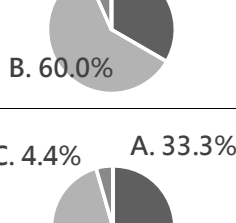
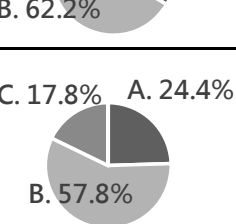
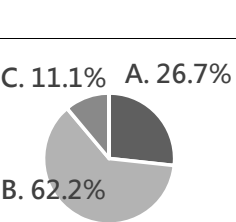


令和4年度 兵庫県立むこがわ特別支援学校 学校評価 自己評価結果

学校経営の重点	①	幼児児童生徒、一人ひとりの人権と一人ひとりの未来を尊重する意識と態度の向上	自己評価の評価基準		
	②	ICTを活用した主体的に学ぶ授業づくりと学校と家庭間の連携	A	よくできた。 十分達成している。	目標に対して具体的な方策が順調に進行しており、当初の成果が得られていると判断される。
	③	地域資源を活用した体験活動を主とした地域とともに育つ学校づくり	B	できた。 おおむね達成している。	目標に対して共通理解をもち、具体的方策の実行に着手しつつある。
	④	専門能力スタッフ等との連携によるチームとしての校内・地域支援の推進	C	あまりできなかった。 あまり達成されていない。	目標に対する方向性はあるが、共通理解が十分でなく、全体的に停滞している。
	⑤	幼児児童生徒が安全安心に学び生活できる環境づくり	D	できなかった。 ほとんど達成されていない。	現状に満足して、問題意識がない。問題意識はあっても手つかずの状態である。
	⑥	一人ひとりをつなぐ、学部間をつなぐ教職員の同僚性や連携づくり			

領域	実践目標	学校経営の重点	具体的な取り組み	評価指標	R4年度の取り組み状況	R4年度(%) ※0%は非表示
組織運営	開かれた学校づくり	③⑥	学校の情報を家庭や地域社会に積極的に発信し、開かれた学校づくりをすすめる。	保護者、関係機関、地域社会へ本校の取組等を発信するとともに、それに関する意見等を収集できたか。	・保護者からの「学校の良いところの発信を」という声をもとに、以下の情報発信を行った。 媒体：ホームページブログ・れんらくアプリ等 頻度：夏休み以降に充実。学部ブログの定期的なアップ	C. 11.1% A. 17.8% B. 71.1%
	働きがいのある職場づくり	⑤⑥	ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて ・アンケート等による教職員の悩み、課題の明確化 ・授業等の悩みや子どもたちの話がでできる場の確保	・勤務時間の適正化のみでなく、仕事へのやりがいを感じられるか。 ・子育てや介護にかかわる各種休暇制度等の周知を行えたか。	・「教職員のための休暇制度等」の案内を毎朝利用するグループウェアにアップして閲覧しやすくした。 ・教職員アンケートの実施（夏休み中）。アンケートに出ている勤務時間や風通しの良さに関する内容を、衛生委員会を通じて検討していった。	D. 2.2% A. 17.8% C. 22.2% B. 57.8%
	セキュリティ・情報管理体制の整備	②	個人情報等の管理システムの構築及び教職員一人ひとりがそれを意識できるように周知を徹底する。	「情報資産分類と管理」をもとに個人情報保護に向けた体制を整えることができたか。	教職員全体に対して、「情報資産分類と管理」の周知ができていない状況ではあったが、教務情報部にてグループウェアに掲載するなどして周知を行った。（1月）	D. 2.2% A. 13.3% C. 31.1% B. 53.3%
総務管理	子どもたちの安全な教育環境の整備	⑤	施設・設備を月1回点検し、必要な個所は修繕等を行う。	月1回の安全点検を実施し、修繕等の対応を行うことができたか。	毎月最終登校日に安全点検表の点検項目に基づいて職員全員で実施し、その結果を踏まえ、修繕等の対応を行った。	C. 6.7% A. 35.6% B. 57.8%
	PTA本部の活動の充実を図る。	②⑤	PTAと学校が連携・協力し本部の活動を行う。	講演会、研修会、ベルマーク運動など本年度の活動計画を実施することができたか。	コロナ禍で講演会や研修会は実施できなかったが、PTA本部役員と学校が協力してPTA規約や会費のしおり等の整備、アンケートの実施や防災備蓄品の管理、行事に向けた諸準備等の活動を行った。	C. 8.9% A. 15.6% B. 75.6%
	教育活動に必要な備品・消耗品の整備を行う。	⑤⑥	学部・学年から上がってきた要望に基づき整備を行う。	必要な備品・消耗品の整備を行うことができたか。	総務管理部長が窓口となり、各部より購入希望のあった備品・消耗品の整備を行った。	D. 2.2% A. 26.7% C. 11.1% B. 60.0%
教務情報	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	①③	授業の始まりと終わりを意識させる。導入展開、そして振り返り時間を設定する。学ぶことに興味関心を持たせる工夫、児童生徒同士や教員と対話できるしかけ作りをする。また、教員が、児童生徒が「何ができるようになるのか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」を言語化できる。	・児童生徒が単元を通じて見通しを持って主体的に取り組む様子が増えたか。 ・児童生徒が授業で学んだことを学校生活場面で発揮できたかどうか。	授業では必ず挨拶を行うことで、始まりと終わりを意識させ、導入部分ではICT等を活用しながら、授業の見通しが持てるように取り組んだ。児童生徒と教員との対話はできているが、児童生徒同士については、もう少ししかけ作りの工夫が必要である。児童生徒に授業の目標を確認する機会を設けたり、振り返りを丁寧に進める必要がある。	C. 17.8% A. 13.3% B. 68.9%
	ICTを利活用した効果的な指導	②	あらゆる場面で積極的にICTを活用する。また、児童生徒の特性を把握し、好みや得意分野を活かして効果的な指導への工夫を図る。	・日々の授業や学校生活の中で電子黒板やiPad等を利用したかどうか。児童生徒自ら利用したかどうか。 ・ICTを活用した学びが生活場面で発揮できたかどうか。	各教員によって利用頻度や使い方に差があるものの、各授業場面において児童生徒全体や個々に対して利用できている。特に、視覚的に優位な児童生徒には積極的に活用している。児童生徒は、休憩時間に利用していることが多い。	C. 15.6% A. 20.0% B. 64.4%
生徒指導	通学を含め学校生活を安全かつ円滑に進めるために、必要な業務内容を明確にし、仕事内容、役割分担の整備を行う。	⑤⑥	SB担当の役割分担など、仕事内容を整備する。	SB担当の役割分担などについて、整備ができたか。	バス会社との連絡窓口を設置、各バス担当の分担の仕方を変更し、仕事内容を整備した。	D. 2.2% A. 22.2% C. 15.6% B. 60.0%
		⑤⑥	バス停自力の判定までの手順を整備する。	自力通学判定までの手順の整備を進められたか。	受付から判定会議(進行含む)の流れを整備した。	C. 22.2% A. 17.8% B. 60.0%
		⑤⑥	生活指導課の仕事内容を明確にし、整理する。（高等部設立時の仕事内容を含む）	生活指導課の仕事内容を整理できたか。（高等部に向けての仕事内容を含む）	高等部に向けての仕事内容を含め、いじめアンケート、長期休業前生活注意などの業務を明確化した。	C. 20.0% A. 15.6% B. 64.4%

領域	実践目標	学校経営の重点	具体的な取り組み	評価指標	R4年度の取り組み状況	R4年度(%) ※0%は非表示
進路指導	児童生徒のよりよいキャリア形成のための、進路指導及び環境設定を行う。	①⑤⑥	「あいさつをする」「人の手伝いをする」「係活動などで集団に貢献する」など、生活全般において、キャリア形成のための指導支援や、そのための環境設定に努める。(例:毎朝先生方や保護者の方とあいさつをする、クラスでできる仕事を作る、清掃に取り組むなどなんでも幅広く)	生活全般においてキャリア形成を意識した指導支援や仕掛け作りができたか。	毎朝「あいさつ運動」を実施して、あいさつの指導を全校的に行った。また、係活動に就き、各クラスで「自分のすべき仕事」を意識させながら、責任感をもってクラスの仕事をを行っている。各児童生徒が「自分らしく仕事を行う」ために、個人に応じたやり方や方法を探りながら行っている。清掃活動も同様に、濡れた新聞紙や収集場所の目印など視覚支援を工夫しながら、各児童生徒に応じたやり方で行った。	
	進路選択に関する情報の収集および発信	①③⑥	進路に関する情報収集を行い、「進路だより」などで情報を発信する。	「進路だより」の発行など、進路に関する情報の発信ができたか。	進路だよりなどを通じて、進路に関する情報提供を行った。また、保護者福祉事業所見学会を催し、各事業所の見学や、職員の説明を聞くことで、保護者の方が進路に関する知見を深めることができるよう図った。	
自立支援	校内の支援体制を整え、日頃の情報共有と連携を充実させる。	④	支援部員と担任は、児童生徒の状況を共有し、より良い支援ができるように実態把握し、関係部署や関係機関と連携する。	毎月校務部会で支援が必要な児童生徒の状況を報告し、支援の方法を検討できたか。	毎月、各学部学年より出た児童生徒情報の一覧表を基に情報共有した。対応が必要な場合は、関係者や関係機関に連絡して連携を取るようにした。スクールカウンセラーにも相談し、支援に繋げた。	
	地域のニーズに応じて特別支援学校のセンター的機能を支援に繋げる。	④	地域近隣校への巡回相談や教育相談を通して特別支援教育の専門性を生かしていく。	相談内容を通じて実態把握を詳細に行い、相手のニーズに応じて丁寧な対応ができたか。	巡回相談の依頼に応じて、対象児童生徒の実態把握を行い、検討会では関係者と支援の手立てについて話し合うことができた。	
	自立活動の指導が円滑に行えるように校内の体制を整える。	④⑤	児童生徒の状態に応じた実態把握や課題設定を行い、よりきめ細やかな支援ができるようにする。	児童生徒の実態に応じたグルーピングや教材の活用ができたか。	各学部の自立活動の取り組みが把握できるよう、自立活動の記録(様式)を作成。今後のグルーピングや指導に役立てたい。また指導が円滑に行えるよう貸出用教材教具を整備した。更なる整備が必要である。	
保健安全	(保健) 児童生徒の健康の保持増進と感染症予防のための環境整備	①④⑤	・安全に定期健康診断を実施し、より正確な結果をもとに、保護者や医療機関との連携を図る。 ・健康診断に向けた事前学習を行う。 ・登校・出勤前の体温測定の徹底と手洗い・マスク着用に向けての保健指導の実施	・児童生徒に応じた検診方法を把握し、学校医と連携を取りながら検診を実施できたか。 ・毎日の健康観察チェックによる感染状況の把握 ・登校・出勤前の体温測定の実施と確認(月毎に回収)	・学校医と連携を取りながら、検診に向けた事前指導や検診時の補助について児童生徒に合った方法を工夫しながら正しく安全に実施できた。 ・健康観察カードを毎日回収し、子どもたちの健康状態を確認している。 ・担任の日常観察の中で体調不良の兆しを確認し、早期に対応することができた。(発熱者の隔離、受診等)	
	(防災) 防災教育を通じて、身を守るために必要な防災意識を養う。	⑤⑥	・年間を通して計画的に防災教育を行い、命を守るための避難行動が取れるようにする。 ・学部・学年に合わせた事前学習を行う。 ・危機管理マニュアルを作成し、職員の連携をはかる。	・児童生徒が災害場面に応じた避難行動が取れているか。 ・職員がマニュアルに沿って、各自の役割に応じた行動ができたか。	・年間で3回の避難訓練を実施した。火災時と地震時の初期避難行動が取れるようになった。 ・避難訓練の実施要項に職員の役割を明記し、避難経路の確認や災害時用名簿を持ち出すなどに取り組めた。マニュアルについては今年度実施したことをもとに作成。	
	(食育) 安全安心な給食提供と食育の推進	④⑤	・食に関する指導の全体計画を作成し、担任と栄養教諭、養護教諭が連携して指導する。 ・衛生管理を徹底し、児童生徒の実態をふまえた献立を作成する。	・食に関する指導の全体計画の作成および教員同士の連携体制が構築されているか。 ・児童生徒の給食喫食状況はどうか。	・児童生徒の食生活動作の発達等に関するチェックを行った上で食に関する指導の全体計画を作成した。 ・学校給食摂取基準を策定し、児童生徒の喫食状況(残食調査で把握)と基準を踏まえた献立作成を行っている。衛生管理マニュアル及びアレルギー疾患マニュアルを作成。	
小学部	基本的な生活習慣を確立するため、保護者や関係機関と連携し、適切な目標設定に基づいた指導や支援ができる。	①②	挨拶や、身の回りのことが自分でできるようにするため、発達段階表を基に、実態把握をした上で、個に応じた適切な目標設定をする。	チェックリストを基に、実態把握をし、適切な目標を設定でき、達成に導けたか。	小学部用に作成した、チェックリストを参考にするよう学部会で働きかけた。各教員で子ども一人一人に適切な目標を立て、個別の教育指導計画等に反映し、達成に向けて指導を図った。	
		②④	保護者や関係機関と連携を図り、情報を共有し、協力して指導や支援をする。	日々の連絡帳、個人懇談、支援会議などで、保護者や関係機関と情報共有し、目標や支援、指導について確認ができたか。	日々の連絡帳や支援会議で子どもの課題を共有し、個人懇談で目標に対する支援や指導を共通理解した。	
中学部	基本的な社会生活習慣を確立するため、保護者や関係機関と連携し、適切な目標を設定したうえで、一貫性のある指導や支援を行う。	①②	・一人ひとりの障害の状態や特性に応じたコミュニケーション手段を選択し、基本的な挨拶の指導を行う。 ・社会生活習慣の一つとして、時間を意識した行動ができるよう指導する。	個に応じて適切に目標を設定して、必要に応じた指導や支援ができたか。	基本的な挨拶と、時間を守ることを中学部の学部目標として設定し、学級や授業で周知し、指導を行った。個に応じた指導については、日常生活の中で工夫を行い、必要に応じて個別の指導計画に目標を設定し、指導や支援を行った。	
		②④	保護者や関係機関と連携を図り、情報を共有して、より効果的な指導や支援につなげる。	計画的に保護者や関係機関と情報共有を行い、適切な指導や支援につなげることができたか。	必要に応じて支援会議を開き、関係機関と支援についての情報を共有する機会をできるだけ設定した。	